特別会計

１　国民健康保険事業会計

当年度は、歳入決算額19,557,583千円に対し、歳出決算額18,652,642千円となっている。

歳入歳出差引額は、904,941千円の黒字となっており、全額翌年度へ繰り越されている。

歳入歳出の内訳は、それぞれ次頁のとおりである。

前年度と比較すると、歳入で305,284千円(△1.5％)、歳出で716,720千円(△3.7％)と

それぞれ減少している。

歳入の減少の主な要因は、国庫支出金で225,664千円(6.6％)増加したものの、療養給付費等交付金で304,823千円(△51.7％)、国民健康保険税で185,818千円（△5.3％）とそれぞれ減少したことによるものである。

歳出の減少の主な要因は、基金積立金で51,189千円(25.7％)増加したものの、保険給付費で583,265千円（△4.9％）、共同事業拠出金で116,755千円（△3.0％）とそれぞれ減少したことによるものである。

国民健康保険税の収納状況は、前年度と比較すると収入済額で185,818千円(△5.3％)

減少し、収入未済額で23,278千円(△2.4％)減少している。

また、収納率は76.4％であり、前年度と比較すると0.1ポイント低下している。

不納欠損額は65,557千円で、前年度と比較すると32,906千円(△33.4％)減少している。

なお、予算に定められた一時借入金の借入れの最高額は1,500,000千円であるが、借入れはなかった。

　　歳出予算の流用は、予算の定めに従って適正に処理されていた。

歳入決算状況　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 　 （単位：千円・％）

(注)「収入済額」欄中の（　）内は、「収入済額」に含まれる還付未了額である。

歳出決算状況　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 (単位：千円・％)



歳入歳出差引額　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 (単位：千円・％)



国民健康保険税収納状況　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 　　(単位：千円・％)



(注)「収入済額」欄中の（　）内は、「収入済額」に含まれる還付未了額である。

国民健康保険税と保険給付費等の比較



保険給付費の状況　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 (単位：千円・件)



市債現在高の状況　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 　　(単位：千円・％)



２　荻布奨学金事業会計

当年度は歳入歳出決算額とも1,554千円の同額となっている。

歳入歳出の内訳は、それぞれ下表のとおりである。

歳入では、荻布奨学基金からの繰入金937千円は、前年度と比較すると194千円

(26.1％)増加している。

奨学金は、16人の高校生及び高専生に対し1,536千円支給されている。

歳入決算状況 　　 　(単位：千円・％)



歳出決算状況　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　(単位：千円・％)



歳入歳出差引額　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　(単位：千円・％)



奨学金支給状況　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　(単位：千円・％)



３　駐車場事業会計

当年度は歳入決算額613,135千円に対し、歳出決算額も同額となっている。

歳入歳出の内訳は、それぞれ下表のとおりである。

事業収入は239,264千円で、前年度と比較すると7,039千円(△2.9％)減少している。

これは、高岡中央駐車場の事業収入が1,084千円増加したものの、御旅屋駐車場で7,740

千円、高岡駐車場で383千円とそれぞれ減少したことによるものである。

　地方債は、起債の目的、限度額、起債の方法、利率及び償還の方法について、予算の

定めに従って行われていた。

歳入決算状況　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　(単位：千円・％)



歳出決算状況　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　(単位：千円・％)



歳入歳出差引額　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　(単位：千円・％)



市債現在高の状況　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　(単位：千円・％)

　御旅屋駐車場利用状況

　(注)（　）内数字は、合計台数の内数。

高岡中央駐車場利用状況

　(注)（　）内数字は、合計台数の内数。

高岡駐車場利用状況

　(注)（　）内数字は、合計台数の内数。

４　工業団地造成事業会計

当年度は、歳入決算額1,803,072千円に対し、歳出決算額1,803,062千円で、歳入歳出

差引額10千円は、翌年度へ繰り越すべき財源として繰り越されている。

歳入歳出の内訳は、それぞれ下表のとおりである。

前年度と比較すると、歳入で1,764,038千円（4,519.2％）、歳出で1,764,028千円(4,519.2％)増加している。これは主に、歳入では、戸出西部金屋産業団地（仮称）の造

成に係る借入により市債で1,099,300千円（皆増）、四日市工業団地の分譲により財産収

入で668,166千円（5,034.0％）、歳出では、造成に係る用地取得等により工業団地造成

事業費で1,167,059千円（7,996.8％）、分譲に伴う繰上償還の実施により公債費で596,969千円（2,442.6％）とそれぞれ増加したことによるものである。

地方債は、起債の目的、限度額、起債の方法、利率及び償還の方法について、予算の

定めに従って行われていた。

なお、予算に定められた一時借入金の借入れの最高額は50,000千円であるが、借入れ

はなかった。

歳入決算状況　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　(単位：千円・％)



歳出決算状況　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　(単位：千円・％)



歳入歳出差引額　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　(単位：千円・％)



市債現在高の状況　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　(単位：千円・％)



翌年度繰越事業

当年度から翌年度へ繰り越された事業は、繰越明許費1件となっている。

繰越明許費の理由は、実施設計について関係機関との調整に不測の日数を要したことに

よるものである。

繰越明許費の内容　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（単位：千円）



５　介護保険事業会計

当年度は歳入決算額17,458,995千円に対し、歳出決算額17,331,248千円で、歳入歳出

差引額は、127,747千円の黒字となっており、全額翌年度へ繰り越されている｡

歳入歳出の内訳は、それぞれ下表のとおりである。

歳入は、前年度と比較すると475,582千円(2.8％)増加している。

これは主に、支払基金交付金で162,410千円(3.6％)、国庫支出金で149,887千円（4.0％）とそれぞれ増加したことによるものである。

歳出は、前年度と比較すると505,279千円(3.0％)増加している。

これは主に、介護サービスを利用した際に支払われる保険給付費で347,849千円

(2.2％)、介護予防や包括支援事業などの地域支援事業費で154,295千円（42.1％）とそ

れぞれ増加したことによるものである。

また、介護給付費準備基金として118,627千円が積立てられている。

なお、予算に定められた一時借入金の借入れの最高額は300,000千円であるが、借入れ

はなかった。

　歳出予算の流用は、予算の定めに従って適正に処理されていた。

歳入決算状況　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　(単位：千円・％)



(注)「収入済額」欄中の（　）内は、「収入済額」に含まれる還付未了額である。

歳出決算状況　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　(単位：千円・％)



歳入歳出差引額　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　(単位：千円・％)



第１号被保険者の介護保険料収納状況　　　　　　　　　　　　　　　(単位：千円・％)



(注)「収入済額」欄中の（　）内は、「収入済額」に含まれる還付未了額である。

保険給付費の状況　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　(単位：千円・件)



６　後期高齢者医療事業会計

当年度は歳入決算額2,310,130千円に対し、歳出決算額2,298,046千円で、歳入歳出

差引額は、12,084千円の黒字となっており、全額翌年度へ繰り越されている｡

歳入歳出の内訳は、それぞれ下表のとおりである。

前年度と比較すると、歳入で106,612千円（4.8％）、歳出で97,138千円（4.4％）とそ

れぞれ増加している。これは主に、歳入では、後期高齢者医療保険料で94,954千円（5.5％）、歳出では、後期高齢者医療広域連合納付金で102,714千円（4.8％）とそれぞれ増加した

ことによるものである。

歳入決算状況　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　(単位：千円・％)



（注）「収入済額」欄中の（　）内は、「収入済額」に含まれる還付未了額である。

歳出決算状況　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　(単位：千円・％)



歳入歳出差引額　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　(単位：千円・％)

